

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	光の種子まく合唱団／ザ・イスカダール
事業名	光の種子まく合唱団&ザ・イスカダール コンサート

事業内容

約200名のお客様をお迎えし、合同コンサートを開催しました。

第一部は光の種子まく合唱団によるステージ。懐かしい歌や愛唱歌を中心としたプログラムで構成し、思わず手拍子が起こる場面もあるなど、会場はあたたかい雰囲気になりました。第二部はザ・イスカダールの演奏。若手、女声、ベテランによる小編成の演奏から、団員全員による混声合唱まで、さまざまな編成でのステージとなりました。平和へのメッセージを込めた楽曲を中心にお届けしました。

また、会場の皆さんと一緒に季節の歌や愛唱歌、クリスマスソングを歌い交わすコーナーも設けました。手遊び歌では、来場者の皆さんが体を動かしながら積極的に参加され、会場全体が一体感に包まれました。

第三部は組曲「光の種子をまくとき」の合同演奏。合唱組曲全曲に加え、語りや朗読も取り入れたフルバージョンでの上演を行うことができました。時代背景や当時の臨場感がより伝わる、充実した演奏となりました。

最後は会場の皆さんとともに「ふるさと」を歌い、フィナーレを迎えました。お帰りになる皆さんの表情も晴れやかで、心あたたまる締めくくりとなりました。

事業の成果

今回の公演は、光の種子まく合唱団とザ・イスカダールによるジョイントコンサートとして開催しました。組曲に取り組みにあたり、協力団員を募集し、月1回の合同練習を重ねてきました。その結果、団員以外からも約20名の参加があり、総勢40名を超える体制で本番を迎えることができました。人数が増えたことで、より厚みのある、質の高い演奏につながったと感じています。

また、来場者層も若い世代から親子連れ、シニア層まで幅広く、様々な世代にご来場いただきました。出演者や関係者のつながりを通じて、多くの方々に公演の輪を広げることができた点も大きな成果の一つです。

今後の取り組み

2つの合唱団によるジョイントコンサートは、それぞれの持ち味を生かしたステージづくりができる貴重な機会であると感じています。頻繁な開催は簡単ではありませんが、今後も機会を見ながら継続して挑戦していきたいと考えています。

また、今回の演奏会では、組曲「光の種子をまくとき」を初めて聴いた方も多かったのではないかと思います。地元・松代を舞台に、大本営を題材として歌われたこの合唱組曲を、これからも多くの方に知っていただき、次の世代へとつないでいけるよう取り組んでいきたいと思っています。

実施状況



光の種子まく合唱団の演奏



ザ・イスカダールの演奏



会場とうたう会



組曲「光の種子をまくとき」の合同演奏